

地域のつながりを防災・減災に 全町一斉防災訓練

訓練を重ねることにより、防災意識の風化を防ぎ、また地域防災力と防災意識を高めるため、10月1日、全町一斉防災訓練を行いました。



おしどり荘への避難者を受け入れる職員ら

設置され、地震発生時の対応を確認したほか、住民からの避難状況の報告を受け、安否確認も行いました。同時に、町指定避難所が町内3カ所に設置され、役場職員が避難者の受け入れや誘導などを実施しました。

おしどり荘では、根雨1区、2区の住民7人を受け入れ、町災害対策本部に避難者の氏名や健康状態などを報告しました。

今回は、日野町を震源とする震度6の地震が発生したと想定。午前9時にサイレンを鳴らして、町民に仮避難所へ避難するよう避難指示を発令しました。

また、町では災害時に一般の避難所では生活が困難な人のための避難所（福祉避難所）の設置について高齢者向け施設などと協定を結んでいます。今回の訓練では、福祉避難所である、介護老人保健施設おしどり荘（日翔

会）と町老人福祉センターに避難する訓練も行われました。

おしどり荘では、根雨1区、2区の住民7人を受け入れ、町災害対策本部に避難者の氏名や健康状態などを報告しました。

いざという時の備えに <町指定避難所および福祉避難所のご案内>

町では、災害発生時の町指定避難場所を次のとおり指定しています。災害発生時などに避難所を開設した場合は、防災行政無線などでお知らせしますので、最寄りの避難所を確認しておくようにしましょう。

町指定避難所

指定避難所は、災害発生の危険性があり避難した住民などが、その危険性がなくなるまで必要な期間滞在、または、災害により自宅に戻れなくなった住民などが一時的に滞在するための施設です。

No.	避難所名
1	日野町山村開発センター（根雨）
2	日野町構造改善センター（根雨）
3	日野中学校体育館（野田）
4	根雨小学校体育館（野田）
5	日野町老人憩の家（下榎）
6	下榎集会所（下榎）
7	日野町公民館（黒坂）
8	黒坂小学校体育館（黒坂）
9	日野町老人福祉センター（黒坂）
10	久住集会所（久住）
11	菅福社会体育館（上菅）

福祉避難所

災害時において一般の避難所では生活が困難な人、主に高齢者、障がい者、乳幼児などの要配慮者が滞在できるよう、福祉避難所を整備しました。

下表の4～7の避難所は、町と協定を結び、受け入れに協力していただく福祉施設です。介護保険の認定を受けている人（日常生活に支援が必要な人、寝たきりの人など）は、こちらに避難してください。

※避難者数などの状況によっては、町が避難先を調整することがあります。

No.	避難所名
1	日野町山村開発センター（根雨）
2	日野町公民館（黒坂）
3	日野町老人福祉センター（黒坂）
4	介護老人保健施設 おしどり荘（根雨）
5	グループホームいちょうの木（根雨）
6	特別養護老人ホームあいご（根雨）
7	デイサービスかじか荘（根雨）

【問合せ先】役場総務課（電話72-0331）



山口副町長も激励！元気よく走る子どもたち

9月19日、黒坂小学校で全校生徒が参加してマラソン大会が行われました。

小学校で日々取り組んでいるマラソン練習の成果の発表の場として開かれたもので、低学年は0.8km、中学年は1.0km、高学年は学校からまちなかを通る1.6kmの距離を走りました。

ゲストランナーの山口副町長や柴田互黒坂警察署長、地域の人の声援が飛ぶ中、子どもたちは全力で走り笑顔でゴール、元気な姿をみせていました。

元気なカワコっ子集まれ！ 黒坂小学校マラソン大会



ごみ袋いっぱいの落ち葉を手に笑顔みせる

自分たちの暮らすまちを清掃し、ふるさとを大切にすると、心や奉仕の心を育て地域を元気にしようと、9月14日、日野町小中高合同ボランティア清掃活動が行われました。

当日は、根雨小学校6年生、黒坂小学校1・2年生、日野中学校全校生徒、日野高校2年生が、14のグループに分かれ、駅や通学路、公園などを清掃しました。

はじめは、慣れない様子だった生徒らも徐々に慣れ、お互いコミュニケーションを取りながら、地域の人と一緒にまちをきれいにする姿がみられました。

きずなづくり、地域に愛着をもつきっかけに 小中高合同ボランティア清掃

ふるさとのことば ～日野弁なんずかんず～ 第51回

皆さんに好評いただいているこのコーナー。連載50回達成を機に、今後は少し趣向を変えて日野弁の面白さを紹介します。（決してネタ切れになったわけではありません…）

移住者に聞く！『日野ことば』

私は、出身地は鹿児島ですが、アメリカや大阪、沖縄など、いろんな地域を転々としてきました。

経験的に、その土地の言葉を「聞き流して理解する」「ワザを編み出したため（笑）、日野町でもあまり言葉で悩んだことはないのです。が、全く意味が分からなかったのは「じげ」で「ねき」「井手さうえ」ですね。

好きな日野ことばは「だんだん」。移動販売車で買い物をされたお年寄りが「だんだん」とお礼をされている姿を見てはニンマリしています。

沖縄時代に好きだった方言は「だからよー」（相づち）「くしましよ（うね）」（私がうるね）ですね。いわゆる標準語とは意味もイントネーション（黒点部分）も違いますが、のんびりした言い方が素敵だなと思います。

協力：日野町歴史民俗資料館友の会



満100歳を迎えた梅林さん（中央）夫妻

町内の高齢者の長寿を祝おうと、9月15日、景山町長が高齢者宅を訪問し、記念品を手渡しました。

今回対象となったのは、満88歳を迎えた48人と、満100歳を迎えた2人の計50人です。

満100歳を迎えた梅林馨さん（黒坂）と柱本百合子（秋縄）さんには、内閣総理大臣と町からの記念品が贈られました。

景山町長は「これからもお元気で過ごしてください」とメッセージを送り、長寿を祝いました。

人生の大先輩に心を込めて 敬老記念品の贈呈